

学科

学生番号

氏名

1. 次のうちグラフの使い方として適切なものはどれか。

(ア) ある商品購入者の世代別割合を表わすために ~~レーダチャート~~ を使う。

円グラフ

(イ) 月の平均気温と飲料商品の売上高の関係を表わすのに散布図を使う。

(ウ) 試験の受験者数の推移を表わすために ~~円グラフ~~ を使う。

折れ線グラフ

(エ) 全部で 5 科目ある試験で、各科目平均点のバランスを表わすのに ~~折れ線グラフ~~ を使う。

レーダーチャート

2. クラスの学生の 8 科目の成績をそれぞれ 5 段階で評価した。クラスの平均点と学生の成績の比較や、科目間の成績のバランスを評価するために用いるグラフとして、最も適切なものはどれか。(IT パスポート平成 25 年秋期)

(ア) 円グラフ

(イ) 散布図

(ウ) パレート図

(エ) レーダチャート

3. 品質管理において、測定値の存在する範囲を幾つかの区間に分け、各区間に入るデータの度数を棒グラフで表したものはどれか。(IT パスポート平成 28 年春期)

(ア) 管理図

(イ) 特性要因図

(ウ) パレート図

(エ) ヒストグラム

別名 Fishbone diagram

4. 特性要因図の説明として、適切なものはどれか。(基本情報平成 17 年春期)

(ア) 原因と結果の関連を魚の骨のような形態に整理して体系的にまとめ、結果に対してどのような原因が関連しているかを明確にする。

(イ) 時系列データのばらつきを折れ線グラフで表し、管理限界線を利用して客観的に管理する。

(ウ) 収集したデータを幾つかの区間に分類し、各区間に属するデータの個数を棒グラフとして描き、品質のばらつきをとらえる。

(エ) データを幾つかの項目に分類し、横軸方向に大きさの順に棒グラフとして並べ、累積値を折れ線グラフで描き、問題点を整理する。

5. 「大学に合格する」というテーマで特性要因図をかけ。